

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールA(Seminar of Study A)	授業コード	P170132
担当教員名	濱田 大助	科目ナンバリングコード	P31701
配当学年	3	開講期	前期
必修・選択区分	必修	単位数	2
履修上の注意または履修条件	1 基本的なPCの操作(ソフトウェア起動終了、日本語入力、ファイル処理等)と学内LANの利用(Webによる情報収集・および操作)メールソフト(スマートフォン含む)の操作ができること。 2 これまでの科目でわからない事柄がある場合は、必要に応じて早期に再学習することを薦めます。		
受講心得	卒業研究として希望する専門分野の担当教員クラスを履修することが望まれる。演習を伴う授業なので遅刻・欠席をすると授業についていけなくなります。		
教科書	大学生のためのレポート・論文術 小笠原 喜康(著)、その他 都度指示		
参考文献及び指定図書			
関連科目	オフィスアワー		

授業の目的	
授業の概要	・論文の読み方・書き方 教科書をよみ要点をまとめ学習を進めます。中盤以降、国立国会図書館のデータベースで論文を検索し、本学の図書館経由で論文の取り寄せを行い、レポート作成を行います。一連の作業を体験することで卒業研究の最中にトラブルが起きないように準備を行います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週: 情報システムによる演習環境の整備	
第2週: 日本語による文章作成の演習(教科書使用)	
第3週: 就職対策および社会人としての心構えとして時事に関心を持ちます。	
第4週: 時事の報告と情報システムの種別について調査・報告	
第5週: OSについての理解	
第6週:	

パーソナルコンピュータの設置および環境構築等		
第7週： 発想法1 100キーワード		
第8週： 発想法2 マンダラ		
第9週： レポートの書き方		
第10週： 日本語による文章の書き方(教科書)		
第11週： 発想法により導いたキーワードを用いて、レポート作成		
第12週： 3Dプリンタ・レーザカッター等、新時代のものづくり技術の理解		
第13週： 3Dプリンタ・レーザカッター等によるオブジェクト・デモの作成および簡易取扱説明書の作成		
第14週： 3Dプリンタ・レーザカッター等によるオブジェクト・デモの作成および簡易取扱説明書の作成		
第15週： まとめ		
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考	ICT技術を用いて実施内容は記録をしていきます。欠席者に対するの振り返りは行いませんので主体的にカバーするようにしてください。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	演習に対する十分な取り組み
【知識・理解】	OSSの理解と使用。 レポートの書き方についての理解
【技能・表現・コミュニケーション】	自己の考えを表現するとともに、他人の理解を行う。適切な言動(声量・タイミング・言葉遣い)
【思考・判断・創造】	主体的な行動

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			25点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		15点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		15点	10点	
(「人間力」について) ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	報告書が実施内容に即している 理解→不足が無い 表現→図・表が用いられる 思考→原因、応用、社会とのつながりが感じ取られる
発表・その他 (無形成果)	意欲→課題・宿題への取り組み 知識・表現→報告書以外の発言や質問の応答 創造→トライ&エラーの実践